

令和6年度 嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョン検討会議 議事録

■ 日時：令和6年8月23日（金）10時から 場所：飯塚市役所本庁5階 研修室

■ 出席委員：15名（4名欠席）

飯島委員、澁田委員、中村委員、頼金委員、藤川委員、大田委員、梅田委員、梅尾委員、實藤委員、高石委員、佐竹委員、皆越委員、高島委員、野上委員、和田委員

1 開会（進行：飯塚市 総合政策課シティプロモーション推進室長）

2 会長、副会長の選出

共生ビジョン検討会議設置要綱 第5条の規定に基づき 互選した結果、会長に澁田委員、副会長に飯島委員を選出することに決定。

3 議事（進行：澁田会長）

（1）令和5年度連携事業の実績等について

【説明】

連携事業番号①～③：医療部会長（飯塚市 健幸保健課長）より説明。

連携事業番号④～⑨：福祉部会長（飯塚市 高齢者支援課長）より説明。

連携事業番号⑩：教育・文化部会長（飯塚市 生涯学習課長）より説明。

連携事業番号⑪：スポーツ振興部会長（飯塚市 スポーツ振興課長）より説明。

連携事業番号⑫、⑬：産業振興部会長（飯塚市 産学振興担当主幹）より説明。

連携事業番号⑭：事務局（飯塚市 総合政策課長）より説明。

連携事業番号⑮、⑯：地域公共交通部会長（飯塚市 地域公共交通対策課長）より説明。

連携事業番号⑰～⑱：移住・定住部会長（飯塚市 総合政策課長）より説明。

連携事業番号⑳：消防・防災部会長（飯塚市 防災安全課長）より説明。

連携事業番号㉑：人材育成部会長（飯塚市 人事課長）より説明。

【委員からの意見、質疑応答の概要】

○委員

KPI（連携事業の成果指標）について、目標値と実績値が乖離している事業があるので、何か特別な事情があれば教えてください。

○医療部会長（飯塚市 健幸保健課長）

③病院群輪番制事業の広域運営については、平成15年か16年度に福岡県からおりてきた事業で、当時の人数設定をずっと変えていないというところがございます。救急搬送される方も増えているという状況がございまして、目標と実績がちよっと乖離している状況でございますので、今後見直しを図っていきたいと思います。

○福祉部会（飯塚市 社会障がい者福祉課長）

⑥障がい者基幹相談支援センターの広域運営については、虐待支援に関するもので数値化が困難ですが、見直しを検討します。

○福祉部会（飯塚市 こども家庭課長）

⑦子育て支援センターの相互利用については、コロナの影響でイベントの企画立案を見送っており、現状もそのままとなっておりますので、今後圏域全体でのイベントの企画立案を検討したいと思いません。

○福祉部会（飯塚市 保育課長）

⑧病児・病後児保育施設の広域運営については、コロナの影響で登録者数が伸び悩む中、目標値は据え置いておりました。実績として、令和5年度から登録者数は増加傾向にありますが、目標値との乖離については見直しを行います。

○福祉部会（飯塚市 こども家庭課長）

⑨休日等子育て支援体制の構築については、事業実績の通り登録利用者が右肩下がりでございます。令和5年度の唯一の登録利用者につきましても令和6年度は利用意向がございませんでした。また、ここ数年嘉麻市及び桂川町からの広域利用実績もなく、本事業については部会長から報告のあったとおり代替事業の検討に入っております。

○委員

目標値について、変更可能なのでしょうか。

○事務局

事務局より補足説明します。第2次嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョンにおいては5年間の目標を各部会の方で設定していますが、今委員からご指摘のあった実績値の乖離につきましては、今後の進捗管理をしていく上では、目標値を変更して進捗管理をしていきたいというふうに考えております。

○会長

個人的には、目標値という表現が馴染まないように感じておりますが、検討をお願いします。

○委員

⑥障がい者基幹相談支援センターの広域運営に関しては、これは例えば数字が違うというだけじゃなくて、相談のニーズが多かった、支援が必要とされるケースが多かったと言えます。となると、組織として相談を受ける人や、実際に支援に関わるスタッフが不足していたのではないかと考えられます。特にこれだけ数が多いということには、先ほど報告がありましたように近年虐待案件の報告者が多い、周りの人の関心が高まっている。そういう意味では、この障がい者生活の支援が現実的に必要な、ニーズの多い事業という風に考えられますので、そこは数字だけの何か問題というよりも、現実的に相談に対する支援体制構築が自立圏の充実に繋がっていくと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員

⑧病児・病後児保育施設の広域運営や、⑨休日等子育て支援体制の構築に関連して、親御さんが病気の際の支援策について何かありますか。

○こども家庭課長

ファミリーサポートセンター事業などで、例えば子どもの送迎の部分をお願いするといったところはできるかなというふうに思います。

○委員

未登録者でも利用可能なシステム構築の検討をお願いします。

○委員

⑪体育施設の相互利用及び⑫地域公共交通連携の促進について、目標値となっている会議開催件数よりも実際の件数が少ないようです。これに関しては、開催した会議で十分だったのか、目標値通りに開催できなかった理由が何かあるのか、教えてください。

○スポーツ振興部会長（飯塚市 スポーツ振興課長）

⑪体育施設の相互利用については、会議とは別に自治体間における担当者レベルの協議等は別途複数回行われており、その担当者協議の中で今後の課題等について認識を共有できたため、会議の開催回数が少なくてすんだものでございます。

○地域公共交通部会長（飯塚市 地域公共交通対策課長）

⑫地域公共交通連携の促進についても、会議の件数は最大限で見込んでおりましたが、自治体間における担当者レベルまた所属長レベルでの頻繁なやり取りを行った上で、全体の会議を開催した結果、2回の開催に留まったものです。

○委員

⑬地域企業支援と雇用拡大の促進について、人材不足は深刻な社会問題です。中小企業は外国人労働者を雇用したくても、手法等が全く分かりません。嘉飯圏域全体での考え方や、今後の研修会等の開催の可能性についてお聞かせください。

○産業振興部会長（飯塚市 経済政策推進室産学振興担当主幹）

飯塚市においては、国際政策課という部署が担当する事務でございますが、嘉飯圏域においては取り組んでおりませんので、こういったご要望に関する情報提供を行いながら、今後の検討を促したいと考えております。

○委員

⑭戦略的な広域観光の振興については、とても素晴らしい事業であると思います。こういった取り組みを行っていく中で、嘉飯圏域を知ってもらうことが⑮圏域外からの移住の促進に繋がると思いますので、こういったPR活動については、財政状況も厳しいと思いますが予算を確保して是非やって欲しいと思います。

○委員

⑯圏域外からの移住の促進、⑰地域資源を生かした圏域活性化の促進、⑱戦略的な広域観光の振興の3事業が、この圏域の柱であると思います。つきましては、PR活動の実績について、何か確認する手法、可視化することは可能でしょうか。難しいとも思いますが。

○移住・定住部会長（飯塚市 総合政策課長）

観光のPR動画や、これは飯塚市独自の事業ですがYouTubeで広告配信をして移住のホームページに誘導するという取り組みを行っております。これらをご覧になられて移住に関するご相談をいただくことはあるのですが、この場合、「ページ等を見た」旨を仰っていただかないと把握はできませんし、こちらから発信する情報をご覧になられずに移住していただける場合もございます。PR活動を契機に、圏域に移住いただいた方について、把握できた場合はカウントしますが、全ての活動結果を可視化することは困難です。

○委員

PR活動の実績について、数値化できる部分以外でも、事務局で把握されている状況や成果についてご報告いただけると、この定住自立圏における議論も活性化すると考えています。

4 閉会（飯塚市 行政経営部長挨拶）